【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2007-185521(P2007-185521A)
【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-028
【出願番号】特願2007-62649(P2007-62649)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月23日(2007.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
円筒形状でその前後端部を弧状面で閉塞して水密的に封止したカプセル本体を形成し、このカプセル本体前端部の弧状面部を観察窓を形成する透明カバーとし、この透明カバーの内面を球面又は楕円面ないしは楕円面に近い非球面とし、かつこの透明カバーの外面を楕円面又は球面ないし楕円面に近い非球面として、前記透明カバーを周辺部から中央側にいくほど厚さが厚くなるよう構成したことを特徴とするカプセル型医療装置。
【請求項２】
前記透明カバーの内面の楕円面は、該楕円面の長径軸が前記カプセル本体の長手方向の中心軸上にある又は中心軸と平行にあることを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項３】
前記透明カバーの外面の楕円面は、該楕円面の長径軸が前記カプセル本体の長手方向の中心軸状上にある又は中心軸と平行にあることを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項４】
前記透明カバーの内面の楕円面は、該楕円面の長径軸が前記カプセル本体の中心軸と垂直な方向となっているることを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項５】
前記透明カバーは、ポリカーボネイト又はゼオネックスで構成されていることを特徴とする請求項１から４の何れか１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項６】
前記透明カバーは、透明繊維で強化された強化プラスチックで構成されていることを特徴とする請求項１から４の何れか１に記載のカプセル型医療装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】

本発明の一態様によるカプセル型医療装置は、円筒形状でその前後端部を弧状面で閉塞して水密的に封止したカプセル本体を形成し、このカプセル本体前端部の弧状面部を観察窓を形成する透明カバーとし、この透明カバーの内面を球面又は楕円面ないしは楕円面に近い非球面とし、かつこの透明カバーの外面を楕円面又は球面ないし楕円面に近い非球面として、前記透明カバーを周辺部から中央側にいくほど厚さが厚くなるよう構成した。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】